

# 議会報告会報告書

開催日時	平成28年11月2日(水) 19:00~20:32
開催場所	鎌田地区公民館
出席議員	勝野智行、若林真一、川久保文良、井口司朗、上條美智子、田口輝子、中島昌子、小林弘明、芝山稔、柿澤潔、宮下正夫、南山国彦、草間錦也、池田国昭
参加人数	55名
報告に対する質疑	なし
その他	なし

松本市議会議長 様

平成28年11月4日

上記のとおり報告します。

報告者 井口 司朗 ・ 勝野 智行

## 議会報告会報告書（意見交換会）

開催日時	平成28年11月2日（水） 19:38～20:30
開催場所	鎌田地区公民館
出席議員	井口司朗、上條美智子、小林弘明、池田国昭、勝野智行
参加人数	28名
意見交換	<p>小テーマ名（ 防災 ・ 地域と子育て ・ 若者の参加）</p> <p>Q：鎌田地区は平坦地で水害が多い。ハザードマップは面で示されているので、イメージがつかみにくい。高低差がわかる立体的なものを製作して、町会や学校へ出前講座を実施してほしい。例えば、それに水を流して浸水する地域などがわかれば興味を引くと思う。駅周辺も地下水が多く、水害が起こりやすいと思う。</p> <p>A：市としてハザードマップは鳥瞰図的なものだが、ようやくできたところ。ただ、CG的なものができればよいと思う。ハザードマップは色で危険度を表しているが、立体的なものもあれば。</p> <p>Q：今年、鎌田中学校を中心に市の総合防災訓練を実施した。自分の役割の訓練を終えたら皆家に帰ってしまい、最後の閉会式も殆ど参加していなかった。事前の説明会があったが、時間や内容がその度に変わった。訓練をやるのであれば、しっかりとした訓練をお願いしたい。説明をする担当者が少ないのか、町会ごとに開催した説明会に一人の担当者があちこちに行き、待っている町会は時間の無駄になる。</p> <p>Q：総合防災訓練の地区町会長会での説明が二転三転した。集合時間も9時から8時半に変更された。町会員への連絡に時間が足りなかった。鎌田中学校・鎌田小学校・西部体育館の3会場で実施したが、受付がよくわからなかった。また、受付の人が、他の会場の内容を知らないなど、中途半端だった。閉会式の整列の際も、自分の町会の名札がわからない状況。タイムスケジュールも示されない。横の連携が取れていない。地域づくりセンター長もとまどっていた。</p> <p>Q：行政間は連携をとってそれぞれが専門の訓練をして満足でしょうが、町会員は、そのためのおてこに使われている気がする。各自治防災組織では、それぞれに役割分担を担うことになっており、それを活かす訓練をしてほしい。今の方法では、実際に起きたときの訓練にならない。見直しをしてほしい。</p> <p>Q：体育館の人と、中学校グラウンドの人と訓練がバラバラで、相互訓練になっていなかった。</p> <p>A：行政に要望します。</p>

	<p>Q：防災無線について、だいぶ改善されてきたが、まだ聞き取りにくい場所がある。もう少し調整をしてほしい。</p> <p>Q：井川城下区には防災無線用のスピーカーが設置されていないので、なんの情報も聞けない。</p> <p>A：聞こえづらい所は、町会から危機管理部へ要望をして頂きたい。豪雨の際は聞こえない。FMラジオを使って聞いてほしい。</p> <p>Q：総合防災訓練にバケツを持参させられた。市で用意できないのか。また、実際の時にバケツが役に立つのか疑問。</p> <p>A：地元でもバケツは必要と思われます。</p> <p>Q：町会の防災訓練は、多くの町民が参加できる日曜日に行っている。実際には、災害は曜日を選ばない。町会内にいるが、町会に入らない商店や企業との連携ができない。企業の防災訓練実施状況を把握しているか。</p> <p>A：把握はしていないと思われる。</p> <p>Q：企業に参加してもらおう方策はないか。</p> <p>A：企業に対して、いざという時にどんなことができますかと意見を聞く機会を持っている町会もあります。</p> <p>A：学校と町会が連携した訓練は行っていない。企業も同じようなことだと思います。</p> <p>Q：町会に入っていない単身赴任者が多い。その人には、避難先を連絡していない。避難してきた時に掌握できない。当然拒むこともできない。</p> <p>Q：笹部2丁目の創造学園が移転する予定に。跡地を地区防災公園にできないかと思っている。市にも建設部長に要望し、学校にも壬生校長に要望している。ただ、学校側では、全てを更地にするのではなく、耐震基準を満たしている建物は残して活用することも検討されている。</p> <p>A：市には要望をされているとのことですし、学校側の考えもありますので。</p>
その他	なし

松本市議会議長 様

平成28年11月4日

上記のとおり報告します。

報告者 勝野 智行

## 議会報告会報告書（意見交換会）

開催日時	平成28年11月2日（水） 19:38～20:30
開催場所	鎌田地区公民館
出席議員	草間議員、柿澤議員、田口議員、若林議員
参加人数	9名
意見交換	<p>小テーマ名（ 防災 ・ <span style="border: 1px solid black;">地域と子育て</span> ・ 若者の参加）</p> <p>意見、要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は比較的行事参加の人数が多いが中学生が少なく、地域と交流する機会が少ないと思うので、学校等にも考えていただき交流活動があればいいと思う。</li> <li>・通学区制に課題があるように思います。 地域と学生が一致しないので子供たちの友達関係の構築が難しく、町会が子供の把握をでき難くなっている。市の教育委員会にも地域に愛着を持つ地域と子供の結びつきを考えてほしい。</li> <li>・親の過干渉で地域より個に重きをおく傾向があるように思う。地域よりブランド等に食いつくようになってきた。一方、地域同士が協力して子供の夢が近づき応援したい気持ちはあるが子供の地域とブランド等の選択が正しい判断なのか困る。</li> <li>・日常活動の中で参加する子供の町会としての活動方針の位置づけがない。大人になっても子供のころに住んでいた町会行事などの経験が記憶に残る交流活動になったらいいと思う。</li> <li>・子供の増加はマンションの増加が理由に思う。交流機会を増やし、触れ合う機会が増せば、日常見たことがある人の繋がりが増すように思う。子供が楽しむのも大事ではあるが、大人も楽しむ事も大事だ。</li> <li>・単一町会で行事を開催できなくなっているため、連合町会で盛り上がりを考えないといけなくなっている。高校・大学になるとアルバイト等で行事とは離れてしまうので成人式を開催しようと計画したが去年は開催できない状況であったためその年代がそろってくればよいと思う。</li> <li>・昔は携帯電話やSNSといったものがなかったので、親が間に入るような形で遊んでいたように思うが、今は子供が誰と遊んでいるかわからないようになっているので心配している。</li> </ul>
その他	なし

松本市議会議長 様

平成28年11月10日

上記のとおり報告します。

報告者 若林 真一

## 議会報告会報告書（意見交換会）

開催日時	平成28年11月2日（水） 19:38～20:30
開催場所	鎌田地区公民館
出席議員	芝山稔、南山国彦、宮下正夫、中島昌子、川久保文良
参加人数	14名
意見交換	<p>小テーマ名（ 防災 ・ 地域と子育て ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">若者の参加</span> ）</p> <p>Q：若者の定義は？</p> <p>A：何歳から何歳という訳ではないが、選挙権が18歳に引き下げられたので概ね18歳から35歳くらいまで。</p> <p>Q：平成27年の選挙で20代、30代、40代前半の議員が増えたが、議会はどう変わったのか？</p> <p>A：政務活動費の領収書もホームページで公開となった。</p> <p>Q：議会と若い世代に対してどのようなアプローチしているのか？</p> <p>A：松本で行われるワークショップなどで若い人たちに声をかけ、Iターン、Jターン、Uターンに繋がる意見を求めている。今後松本市では三の丸周辺、基幹博物館、市民病院、市庁舎建設など大きなプロジェクトが続くので若い人たちの意見が反映されるような努力を続けていく。</p> <p>Q：18歳に選挙権が引き下げられ、学校で模擬投票などにより子供が関心を持った様子だったが、それよりも前に親世代に関心をもってもらう事が必要ではないか。</p> <p>A：その通りだと思う。松本市では大学生がインターンシップとして地域づくりセンターで活動している。若い世代や、その親世代の意見を反映し若い世代の皆さんを地域のお祭りや様々なイベントに参加してもらえよう努力している。</p> <p>意見、要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども未来委員会は良い取り組みであると思うが一部の子供たちが参加しているだけではないか。もっといろいろな子供たちに参加してもらえれば。子供向けの議会だよりを発行してみてもどうか。</li> <li>・福祉ひろば、公民館のイメージが高齢者向けなので、若者に対してもっと開放すべき。</li> <li>・町会行事で世代間交流会などを行っているが、高齢者の参加が多く中学生の参加が少ない。</li> <li>・明るい選挙の委員も60代、70代が多い。</li> <li>・若者に強制的に参加させるシステムもあっては良いのではないか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・高校生は個人主義であり、SNSなどももっと魅力的なものにすべき。</li><li>・18歳から35歳くらいという事だが、学校、地域、家庭で小学生などの子供の意見を聞くことが大切であり、大人の意識改革が必要</li><li>・地域と若者が交流できるきっかけが必要</li><li>・地域の行事に参加してもらい楽しいと思ってもらう事が必要。小さいときに参加した行事で楽しかったものは大人になっても参加してくれる。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・町会の行事に参加しない市の職員がいる。行政の取り組みとして職員が参加する仕組み作りが必要</li></ul>

松本市議会議長 様

平成28年11月10日

上記のとおり報告します。

報告者 川久保 文良